



△九電工実業団での網崎さんの現役生活引退の際に集まった仲間

◆過去に入賞したレース  
直鞍一周駅伝競走大会

年度	順位
平成16年度	第3位
平成17年度	第3位
平成18年度	第3位
平成20年度	準優勝

宗像ユリックス  
24時間EKIDEN

年度	順位
平成15年度	第3位
平成16年度	準優勝
平成17年度	第3位
平成19年度	準優勝

特集

走り続ける



△平成20年12月直鞍一周駅伝競走大会 Aチーム準優勝

鞍手北中学校陸上部の卒業生で結成された鞍北陸上部OBチーム  
10年目の節目に決意も新たに



【陸上競技の歴史】

より速く、より高く、より強くという運動競技の基本が陸上競技です。その競技の起源は、古代オリンピックにまで遡り、男性だけの競技で、女性は見ることができなかったと伝えられています。陸上競技の一部は今日まで変わらずに受け継がれ、競技が行われているものもあります。

日本が始めてオリンピックに参加したのは、1912年の第5回ストックホルム大会で、短距離に三島弥彦さん、マラソンに金栗四三さんが出場しました。

日本の冬の風物詩の一つに駅伝大会があります。一般のランナーからオリンピック選手までが、それぞれの大会で健脚を競います。1本のタスキを数人のランナーでつないでいく醍醐味は走るランナーだけでなく万人を魅了します。この駅伝競技は、唯一日本で生まれたもので、世界へと広がっていった競技種目であり、日本の長距離・マラソン界のレベルを引き上げるのに大きく貢献してきました。駅伝の語源は、

奈良時代に駅制度に大宝律令に定められた「駅馬伝馬」制にあり、このうちの駅と伝をとり駅伝と名付けられたそうです。

【設立の経緯】

鞍北陸上部OBチームの設立は、平成13年。代表を務める栗田光晴さんが平成12年度の直鞍一周駅伝競走大会に参加した際、母校のチームを作って出場してみたいと思うようになり、最初は5、6人の卒業生で活動していたが、徐々に声をかけ、翌年の平成13年度の直鞍一周駅伝競走大会を皮切りに、鞍北陸上部OBチームを結成。現在では、実業団で活躍していた仲間も現役生活にピリオドを打ち、このチームで楽しさやそれぞれの思いを胸に活動しています。

【活動状況】

現在、鞍北陸上部OBチームは、昭和58年度卒業生から平成21年度卒業生までと多彩な顔ぶれで活動を行っています。年間のスケジュールとしては、4



△平成16年4月24時間EKIDEN

【陸上をはじめたきっかけ】

「小学校のときにどうしても勝てない幼馴染がいて、勝ちたいと思い、走り始めた。」「小学校のときにマラソン大会で優勝し、中学では兄が陸上部に入っていたこともあり、そのまま入部。」「小学校のときに高校駅伝のテレビ中継で網崎さんの走りを見て、憧れ、走りたいなあと思う、気がついたら陸上をしていた。」「町内の駅伝競走大会で走ったのがきっかけ。家族ぐるみで



△平成17年度直鞍一周駅伝競走大会

今年も鞍手北中陸上部OBチームは、直鞍一周駅伝競走大会（小竹町スタート・ゴール）に出場します。沿道からの声援をお願いします。

●とき 11月28日（日）午前10時スタート（区間は17ページを参照）

駅伝のファンであったことから、自分も走ってみようと思った。「何となく入った陸上部だけで楽しかった。」等等など陸上をはじめたきっかけはさまざまです。

【陸上を通じて学んだこと】  
メンバーは全員、鞍手北中の陸上部OBである。徳永先生、児島先生、吉柳先生は、メンバーたちを指導してきた陸上部の顧問。メンバーたちの年代はさまざまであるが、この3人の顧問、そして陸上を通じて、さまざまな話をするところがあるようだ。それがこのチームの「つながり」になっているのかもしれないというメンバーたち。

「今こんなにも何かひとつのことを一生懸命しているとは思わなかった」という。これは、陸上部の先輩・後輩の絆を越え、始まったこのチームでの活動が、それぞれの陸上に対する熱い思いに変わっていった証です。

【それぞれの目標】

鞍北陸上部OBチームの中には、車のランナーとして頑張っている神谷佳道さんがいる。現在は、リハビリも兼ね、さまざまな大会に参加している。彼は今後の目標を「自分ひとりですべて完走すること。そして自分の足で立ち、少しでも走る」と語ってくれました。

【今後の抱負】

「夢にときめけ、明日にきらめけ」

鞍手北中学校  
陸上部OBチーム参加者名簿

- ( )内は中学卒業年度
- |            |            |
|------------|------------|
| 栗田光晴 (S58) | 榊原 愛 (H 7) |
| 水摩英一 (S58) | 柴崎 香 (H 7) |
| 森永裕一 (S58) | 平良新二 (H 7) |
| 梶栗幸雄 (S59) | 竹中鮎子 (H 7) |
| 高橋泰宏 (S59) | 成重洋平 (H 7) |
| 堀角泰正 (S61) | 金森匡昭 (H 8) |
| 石橋孝一 (H 1) | 松岡孝幸 (H 8) |
| 網崎真二 (H 1) | 神谷佳道 (H10) |
| 阿部幸則 (H 2) | 松岡 明 (H10) |
| 船津敏和 (H 3) | 立石知之 (H10) |
| 首藤 啓 (H 3) | 芝野孝太 (H12) |
| 古野尚志 (H 3) | 平良清美 (H12) |
| 坊山弘展 (H 3) | 芝野良平 (H15) |
| 栗田亮一 (H 4) | 秋竹将太 (H16) |
| 古野敏彦 (H 5) | 栗田新也 (H17) |
| 井上晶子 (H 6) | 芝野博絵 (H18) |
| 井上聡子 (H 7) | 古川勇二 (H19) |
| 井上貴代 (H 7) | 大村元希 (H21) |

鞍北陸上部OBチームでは、メンバーを随時募集しています。鞍北陸上部卒業生のみさんの参加をお待ちしています。  
●問い合わせ 栗田 090-9606-1387 まで

テレビドラマのセリフではありませんが、まだまだ夢は広がっているメンバーたち。昨年の直鞍一周駅伝競走大会は、2位でゴールしたものの、オープン参加のため、無念の「記録なし」。「10年目の節目となる今年こそ、チーム一丸となり優勝を目指したい」と監督の網崎真二さんは力強く宣言してく

れました。何かを成し遂げると次の目標を見失いがちになる。けれど仲間と一緒に走り続けていく決意を新たにしたいメンバーたち。新たなスタートを切り、タスキをつなぎ続けるメンバーたちのこれから活躍が楽しみです。